

絆きずな 19号

平成29年1月19日

発行責任者：吉竹一泰

文責：小野田朋子

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

『鍵』

鍵がない

左ポケットに入れた自転車の鍵が・・・

うろたえる僕

それを見ていた友達が 一緒に鍵を
さがしてくれた うれしかった

友達を見た友達が また一人 一緒に
なってさがしてくれた 心強かった

気がつくとも友達の輪の中に僕の苦手な
クラスメイトがいた
複雑な気持ちになった

僕の勝手な思い込みが君を遠ざけていたから

結局 鍵は見つからなかった

スペアキーを届けてもらい 自転車を走らせた
快い汗が背中を流れていった

君のやさしさという鍵で 僕の心が開いた

2016人権の詩（こころのうた）より

【感想より】

1年生

☆誰かが困っている時に、一緒に探してくれたり助けてもらえたら、とてもうれしいと思います。思い込みはあると思うけれど、そこからちゃんとその人のことを見たら、良いところはその人にもあると思います。困っている時に誰かが助けてくれて、それを見ていた人たちも助けてくれて、友達はみんなつながっているんだなあと思いました。私も困っている人を見たら助けてあげられるようにしたいです。良いことをしてもらった後はとても、自分も相手も気持ちよくなるから「助け合い」ということは大切だと思いました。友達に助けてもらうことは、とても良いことなんだと思いました。

☆一緒になって探してくれたりする、ということが自分にとっても嬉しいし、相手も良い気持ちで「やってよかったなあ」という気持ちになると思いました。私も何か困ったことがあると「どうしたん？」と言ってくれたり、一緒に解決しようとしてくれたりします。解決できなくても、一緒にしてくれたことが嬉しい気持ちになるので、これからは友達が困っていたら、積極的に物事を一緒に解決して、優しさがある人になりたいです。

☆鍵がなくなった時に一人で探していたら時間かかるから、クラスの友達が一緒に探していたのでいいなと思いました。自分が苦手なクラスメイトも一緒に探してくれて、結局鍵はなかったけど苦手なクラスメイトの優しい一面も知れて良かったなと思いました。私も鍵を何回かなくすことがあったけど、

その時にはこの文章と同じように友達も探してくれて見つかったので、嬉しかったです。これからもまた同じようなことをするかも知れないけど、その時も友達が助けてくれたら嬉しいと思いました。

☆私も、物がなくなったりしたときに、友達と一緒に探してくれました。そのときは、とっても嬉しかったし、感謝の気持ちでいっぱいでした。でも、私も、私の勝手な思い込みによって、相手のことを本当はあまり知りませんでした。でも、実際にしゃべってみると私が思っていたこととは違って、とてもしゃべりやすいし、優しくていい子なんだと気づいたこともあります。最後の「君のやさしさという鍵で僕の心が開いた」というところは、私なりに考えたのは、自分は最初勝手な思いこみによって君をとうざけていた。でも、君の優しさに気づいて僕の心はかわって君に心を開く気持ちになったということかなと思いました。これからは友達を大切にしていきたいです。

☆自分の鍵がないときに、自分が苦手なクラスメイトが鍵を探してくれたという事は、今まで自分の勝手な思いこみをしていたけど、本当は、そのクラスメイトは、自分が思う人と違っていた。相手に対して、勝手な思い込みをするのは相手に対して、とても失礼だと思います。相手は本当はそんな人じゃないのに、自分の勝手な思いこみで相手を傷つけることがあります。なのでそういう所に注意をしていかないとダメだと思いました。自分もそういう事が起こらないように日々、心がけて生活を送っていきたくてと思いました。

2年生

☆僕達は幼稚園から一緒だから、一人一人のだいたいのことは分かります。しかし、あまり知らない人がいたときにあの人は恐いからなどの勝手に決めつけて遠ざけてしまうのは自分が損をしていると思います。悪いところではなく、その人の良いところを見つけられる人になりたいと思いました。

☆苦手だと思い込んでいたらその人の苦手なところしか見えないので色々な方向から見て良いところを探せられるようにしたいです。また、困っている人がいたら「友達」のように助けられるようにしたいです。

☆私もたまに物をなくします。そんな時一番に友達が心配をして、探してくれました。苦手な友達が探してくれて「あっ。」と思ったと時がありました。私もこの文を書いた人のようにやさしさで心が開いて今ではとても仲のいい友達です。私もこんな心が開けるような人になりたいと思いました。

☆誰かが、困っている時に、助けられる友達こそが、本当の友達だと思います。私も、鍵をなくした友達の、鍵を、最終下校まで探したことがあります。その時は、見つかったので良かったのですが、その友達は、安心した表情で「ありがとう」と何回もいってくれました。とてもうれしかったです。誰かのために、困っている時に助けると、助けてもらった側もうれしいし、助けた方も良い気分になると思うので、助けることは良いことだと思います。苦手だという友達でも、話してみないと、その人の良いところは、見つけられないと思うので、苦手だと思い込まず、話してみたら、良いと思いました。

☆私も自分が困っているときに誰かが助けてくれると本当にうれしいし安心です。結局鍵は見つからなかったけどきつと鍵をなくした本人はみんなからやさしさをもらってうれしかったらうし落ち込まないですんだと思います。また、勝手な思い込みで遠ざけていたクラスメイトも本当は良いところがあつたんだなあと思ったと思うし良いところを探せて良かったと思います。

3年生

☆人と人とのつながりについて改めて感じました。また、「思い込み」は少し恐いと思います。関わっ

てみなければ分からないこともたくさんあるのだと感じました。そして、関わって見えてくるやさしさを見つけたいと思いました。

☆私は、この3年生のクラスメイトが大好きです。私が困った時や、なやんでいる時はいつも助けてくれる友達があります。でも、もうすぐ私たちは卒業し、みんなバラバラの道に進み、また新しいクラスメイトができます。私はあまり、自分から話しかけたりするのが苦手なので、上の文章の男の子みたいに、クラスメイトが苦手になるかもしれません。でも、文章のように、助け、助けられたりして、仲良くなれば良いと思います。

☆よく知らないー。あまり話したことないー。そんな理由でいつのまにかだれかを遠ざけ傷つけていた。自分の勝手な思いこみで自分とだれかの間にかべをつくっていた。自分の心のかぎをしめていた。それは、だれにでもあることだと思います。初めて会う人と話すのは不安だしこわいし、そんな気持ち心にかぎをして、かべをつくってしまうのだと思います。初めて会った人に自分の心をすべてひらきだすのはできないことだと思います。ですが、少しとびらをあけること苦手意識を減らしてみれば自分の世界は大きく変わると思います。

☆私も自転車の鍵をなくしたことがあります。そのとき友達と一緒に探してくれました。心があたたかくなったのを覚えています。誰かのために、誰かを思って行動することはとてもすてきなことだと感じました。私も誰かのために行動できる人になりたいです。

☆本当の鍵は心の中にあったのだと思う。私もこの作者と同じように苦手な人をさけてしまうことがある。その時は楽かもしれないが、長い間で考えるととてもたくさんのきまづい時間を過ごすことになる。そんな時に、自分の心を開きたくさんの人と関わることのできる「鍵」を私は持ちたい。今年、高校生になるが、最初は人と関わるのが難しいと思う。でもそんな時に「心の鍵」を使えるようになりたい。また、友達が自分と同じように人と関わることをこぼんでいたら、友達の心を開ける鍵に私はなりたい。

日々の生活の中で、ともすれば見過ごしがちな様々な出来事を「人権」という視点で見つめ直してみると、改めて気づくことや、心温まるストーリーなど、何か違ったものが見えてくるのではないのでしょうか。

